

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年3月24日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年3月24日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設多核種除去設備の薬液析出防止用ヒーター電源の不具合について】 当直員がパトロールにおいて、既設多核種除去設備の薬液設備共通動力制御盤に故障を知らせる警報の発報を確認。 現場確認の結果、薬液析出防止用ヒーター電源のR相の断線を確認。 析出温度である-3℃を下回ると薬液が析出するおそれはあるが、現在の気温が析出温度を下回る可能性は低いため、既設多核種除去設備の運転に影響を与える可能性は低い。 今後、原因調査を行い対応を検討予定。</p>	GⅢ	3月18日
2	<p>【地震によるタンク連結管のメーカ推奨変位値の超過について】 当社社員が地震の影響によるタンク連結管の簡易調査を行ったところ、メーカ推奨変位値を超過している連結管が計6本あることを確認。 現場確認において、当該連結管に破損や漏えい等の不具合は確認されていないが、メーカ推奨変位値を超過しているため、今後、当該連結管内部の水抜きおよび連結管の取外しを行い、閉止板を取付け予定。</p>	GⅢ	3月21日
3	<p>【協力企業関係者へのメールアドレスの誤った開示について】 当社社員が安全衛生推進協議会加盟の協力企業関係者〔社外者(210名)〕へのメール送信時に、本来BCCに設定し、非開示として送信すべきメールアドレスを「宛先」に設定してメールを送信したことにより、メールアドレスが協力企業関係者に開示された。 メール送信した協力企業関係者へ、メールアドレスが開示されたこととお詫びし、当該メールの削除を依頼済み。 引き続き、メールアドレスの送信先へ電話にて、メールの削除結果を確認する。 なお、二次被害などはないことを確認済み。 今後、発生要因について分析を行い、是正処置を行う。</p>	GⅢ	3月17日